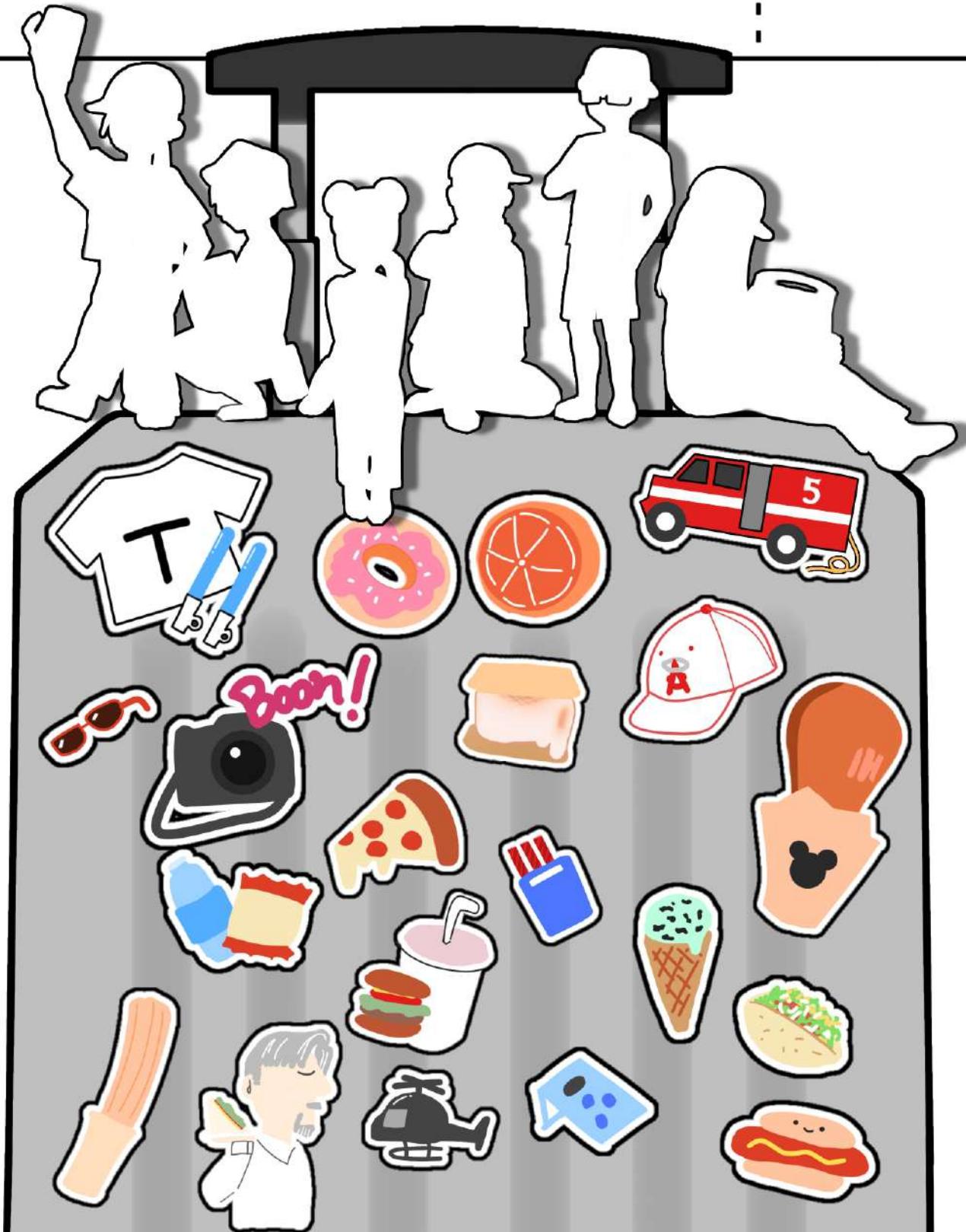


✈ Air Ticket

MITO → ANAHEIM 2024



はじめに

公益財団法人水戸市国際交流協会
理事長 阿部 真也

水戸市の代表として、令和6年度の水戸市学生親善大使がアメリカの文化と歴史を学び、相互理解と友好親善の目的を果たして、無事帰水いたしました。市川恭子先生を団長とし、7月26日から8月8日までの日程でアナハイム市にホームステイしました。

歴史、文化、言葉の壁を超えて得たアナハイムでの友情、体験、思い出は、これから的人生を豊かなものにすることでしょう。互いに認め合うことができる国際人として羽ばたくためのステップになると、確信しております。

学生親善大使経験者の皆さんには、今回の派遣で終わることなく、体験を基にして水戸市の国際交流・異文化理解の促進に寄与されることを期待いたします。

最後に、このプログラムに携わった関係者並びに学生親善大使を受け入れて下さいましたアナハイム市姉妹都市委員会の皆様に、心から感謝申し上げます。

I am very happy to report that all Mito Student Ambassadors in 2024, headed by Ms. Ichikawa, returned to Mito safely. They stayed with families of Anaheim from July 26 to August 8. They studied American culture and history and deepened their understanding and friendship between both cities.

The friendships and experiences will enrich their lives by helping them overcome the differences in history, culture and language. I am convinced that knowing each other will play an important role in becoming more internationally oriented individuals.

I hope that this experience will motivate the student ambassadors to contribute to promoting international exchange and cross-cultural understanding in Mito.

In closing, I would like to express my gratitude to all of the people concerned in this program, both living in the City of Anaheim and the City of Mito. Also many thanks to the members of the Anaheim Sister City Commission for hosting our students. Thank you very much.

Shinya Abe, President
Mito City International Association

目次 -CONTENTS-

～この報告書は、水戸市学生親善大使6名が、アナハイム派遣後に作成・編集しました。～

～This report was written and edited by six Mito student ambassadors in 2024.～

1. 令和6年度水戸市学生親善大使派遣事業概要	1
Mito Student Ambassadors 2024 Program Summary	
2. 令和6年度水戸市学生親善大使名簿	ii
List of Mito Student Ambassadors 2024	
3. スケジュール	1
Schedule	
4. 日誌	2-14
Diary	
5. ホストファミリー紹介	15-18
Introduction of Host Families	
6. 報告書	19-25
Ambassador Reports	
7. 感謝の言葉	26
Words of Appreciation	
8. おまけページ	27-29
Bonus Contents	
9. 参考資料	30-35
Background Information	
10. 編集後記	36
Editorial Note	

令和6年度水戸市学生親善大使派遣事業概要

1 目的

水戸市内の学生を水戸市と国際親善姉妹都市であるアナハイム市へ派遣し、海外でのホームステイを通して国際的な視野に立つ人材を育成するとともに、両市の相互理解と友好親善を深める。

2 主催

公益財団法人水戸市国際交流協会

3 共催

水戸市、水戸市教育委員会

4 概要

- (1) 派遣期間 令和6年7月26日（金）～8月8日（木）（14日間）
- (2) 派遣先 アメリカ合衆国 カリフォルニア州 アナハイム市
- (3) 派遣人数 8名（学生親善大使6名、団長1名、随行職員1名）
- (4) 内容
 - ア アメリカ合衆国及びアナハイム市の歴史や文化等の研修
 - イ 英語研修
 - ウ 関係機関、施設等の訪問・見学
 - エ 水戸市の紹介
 - オ ホームステイを通しての市民間交流（アナハイム市姉妹都市委員会承認の市民ボランティア宅にてホームステイ）
 - カ 市役所表敬訪問、姉妹都市交流の推進
 - キ その他

5 スケジュール

7月 7日（日）13:30-17:00	結団式 第1回事前研修
7月 14日（日）13:30-17:00	第2回事前研修
7月 21日（日）13:30-17:00	第3回事前研修
7月 26日（金）～8月8日（木）	アナハイム市へ派遣（ホームステイ）
8月 25日（日）13:30-17:00	事後研修

令和6年度水戸市学生親善大使 名簿

List of Mito Student Ambassadors 2024

【学生 : Students】

氏名 NAME	学校と学年 School&Grade	ホストファミリー Host Families
小瀬 蒼 Aoi OSE	水戸第一高等学校附属中学校 2年／2nd Grade at Junior High School Attached to Mito First Senior High School	ニッパー家 Nipper Family
熊野御堂 樹里 Juri KUMANOMIDO	水戸第一高等学校附属中学校 2年／2nd Grade at Junior High School Attached to Mito First Senior High School	ベラスケス家 Velasquez Family
首藤 環希 Tamaki SHUTO	大成女子高等学校3年 3rd Grade at Taisei Girls Senior High School	ベラスケス家 Velasquez Family
丹下 愛子 Aiko TANGE	水戸第二高等学校2年 2nd Grade at Mito Daini Senior High School	ディンウェィディ家 Dinwiddie Family
花見 優菜 Yuna HANAMI	水戸市立笠原中学校3年 3rd Grade at Kasahara Junior High School	カステヤノス家 Castellanos Family
山崎 司 Tsukasa YAMAZAKI	水戸第一高等学校2年 2nd Grade at Mito First Senior High School	ベンダ一家 Bender Family

【引率 : Chaperones】

市川 恵子 Kyoko ICHIKAWA	水戸市立千波中学校教諭 English Teacher at Senba Junior High School
川上 亜希子 Akiko KAWAKAMI	公益財団法人水戸市国際交流協会 Mito City International Association

スケジュール Schedule 2024

July 26	July 27	July 28	July 29	July 30
Friday	Saturday	Sunday	Monday	Tuesday
水戸市発 Leave Mito  アナハイム市着 Arrive in Anaheim	ホストファミリーと過ごす Host Family Day 	ホストファミリーと過ごす Host Family Day 	英語研修、 消防署見学、 水戸橋見学 ビーチパーティー English class, Visit Fire Station and Mito Bridge, Beach Party	英語研修、 高校見学、 野球観戦 English class, Visit Western High School, Watch a baseball game at Angel Stadium
July 31	August 1	August 2	August 3	August 4
Wednesday	Thursday	Friday	Saturday	Sunday
英語研修、 表敬訪問、 市役所見学、 歴史資料館、 ミュゼオ見学 English class, Visit City Hall, Heritage Center and MUZEO	英語研修、 市役所見学、 エンゼルスタジアムツアー、 お菓子作り教室 English class, Visit City Hall, Angel Stadium Tour, Join a Cooking class	ディズニーランド、 カルフォルニアアドベンチャー Disneyland and California Adventure	ホストファミリーと過ごす Host Family Day 	ホストファミリーと過ごす Host Family Day 
August 5	August 6	August 7	August 8	Future ►►
Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	
英語研修、 ダントン ディズニー散策、 さよならディナー English class, Shopping at Downtown Disneyland, Sayonara Dinner 	英語研修、 サウスコースト プラザで買い物、 地元スーパー見学、 市内イベント参加 English class, Shopping at South Coast Plaza and superstore, Joining the "National Night Out"	アナハイム市発 Leave Anaheim 	水戸市着 Back to Mito 	To be Continued to Our New World! 

日誌 Diary

第1日目 7月26日 (金)

(1日の行動)

- 11:30 水戸市国際交流センター集合
12:00 出発式
12:30 水戸市国際交流センター発
17:00 成田空港発
～国際日付変更線～
11:00 ロサンゼルス国際空港着
13:00 マリナデルレイ (Marina del Rey) で昼食
15:00 グリフィス天文台見学
17:00 ダウンタウンコミュニティセンター
(DTCC : Downtown Community Center) 着
歓迎会の後、各ホストファミリーとともに解散



(1日の様子)

水戸市国際交流センターに集合し、正午に出発式が行われました。小田木副市長や大津市議会議長、阿部理事長からの激励の言葉に、改めて親善大使としての使命を感じ、身の引き締まる想いでした。多くの方々からの見送りを受け、私たちは水戸市国際交流センターを後にし、いよいよアナハイム市へ出発しました！

ロサンゼルス国際空港に着くと休む暇もなく入国審査へ進み、さっそく英語でのやり取りがあり、とても緊張しました。しかし、無事すべての手続きを終え空港の外へ出ると、思っていたよりも暑くも湿っぽくもなく、とても心地よい気候でした。

昼食は、空港の近くにあるマリナデルレイでサンドイッチを食べました。とても美味しかったのですが、あまりに大きく食べきれませんでした。公園にはリスがいたり、海が近いためにアザラシを見ることができ、とても驚きました。その後、多くの



グリフィス天文台
から見るハリウッドサイン

ハリウッド映画のロケ地として使われているグリフィス天文台を訪れました。そこからの眺めは素晴らしい、ハリウッドサインが見えました。天文台の内部ではフーコーの振り子やプラネタリウム、隕石など、天体に関する展示物を見るることができました。夕方にはDTCCに着き、アナハイム市の姉妹都市委員会やホストファミリーの皆様からの歓迎を受けました。英語での会話は少し緊張したけれど、皆さんとても優しい方ばかりで、安心すると同時にこれらの活動に期待で胸が高鳴りました。 【Tsukasa】

第2日目 7月27日 (土)

(1日の行動)

終日 ホストファミリーと過ごす

(1日の様子)

この日は、前日の長時間移動の疲れもあってか、少し遅く起床しました。朝食でボウルいっぱいにシリアルが出されたときは驚き、早速アメリカンサイズを実感しました。



CPK にて昼食

朝食後は、大きなショッピングモールに行き、気になるお店を回りました。帽子のお店で「ドジャース」とカタカナで書かれた帽子を見つけ、とても驚いたと同時に、日本語を見つけて嬉しくもありました。昼食はそのショッピングモール内の California Pizza Kitchen (CPK) に、ホストファザーの姉妹のご夫婦やご両親も集まって、みんなでピザを食べました。パイナップルがのったハワイアンピザを初めて食べましたが、とても美味しかったです。ホストファミリーはもちろん、集まった方々みんながフレンドリーで優しく、とても楽しい食事でした。午後は家に帰ってくつろいだ後、公園でホストブラザーの野球試合を観戦しました。観ている間、スーパーで買ったスナックを食べたり、ホストシスターと彼女の友人と粘土で遊んだりしました。みんなサンリオキャラクターが好きなようで、たくさんサンリオについて話しました。ホストブラザーの試合の後、夕食にメキシコ料理を食べにノースゲートマーケット (Northgate Market) に行きました。



タコスなどを食べていると、ホストファミリーの友人家族に会い、チュロスをもらいました。夕飯の後、友人家族とそのマーケットで売っている様々なメキシカングッズを見て回り、次の日の朝食用に小さなマフィンを買いました。帰宅後、明日は気球に乗るよと言われ、とてもワクワクしました。アメリカの人々のフレンドリーさを強く実感し、充実した1日になりました。

【Yuna】

第3日目 7月28日 (日)

(1日の行動)

終日 ホストファミリーと過ごす

(1日の様子)

ホストマザーのノックの音で起きた3日目（結局、私は2週間いつも爆睡でした！）。ホストマザー特製のスクランブルエッグの朝食を食べました。朝から新しいこと、楽しいことに出会える予感がしました。

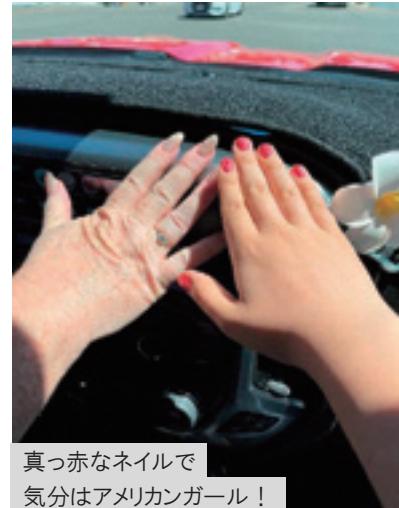
大きい真っ赤な車でスーパーマーケットへ。カリフォルニアの椰子の木と共に「sushi」の看板が次々と見えて、とても不思議な気持ちになりました。そのほかにも多国籍なレストランがたくさんあり、多様な人々がここアメリカに住んでいることを短い道中で感じられました。スーパーマーケットでは、ビッグサイズの野菜や肉の塊がたくさん並んでいました。豊富な種類のシリアルとアイスクリームに驚き、カラフルなジュース売り場も圧巻でした。日本企業のお菓子や飲み物、カリフォルニアロールも売られていて、日本製品の健闘に嬉しくなりました。

次に、ホストマザーが私の人生初のネイルサロンへ連れて行ってくれました。せっかくアメリカに来たのだからと、私はラメ入りの赤を選びました。ホストマザーいわく、「Very American」な色だそうです。アメリカンガールになれた気がしました。

家に戻り、サンドウィッチを食べながらオリンピックを観戦しました。アメリカの選手と一緒に応援しました。日本ではあまり聞き馴染みのない射撃・スキートという競技で、ルールはよく分からなかったけれど、アメリカ選手のメダル獲得に一緒に沸きました。スポーツは言語を越えて理解し合えるし、一体感を生むということを実感しました。

夕食は、ハワイアンレストランで食べました。日本の味が恋しいだろうからということとでヌードルを注文してくれました。その中に入っていたかまぼこがなかなかに塩気が

あり、日本の物といつてもアメリカ仕様に味が変わっていて興味深かったです。逆に、アメリカ人が日本のハンバーガーなどを食べたらどう思うのか気になりました。また、アメリカでは「お持ち帰り」の文化がメジャーで、食べきれなくなっても持ち帰ることが可能です。食品ロスの削減になって良い取り組みだと思いました。食後に日本ではコーラが入っているような大きな容器に入ったアイスクリームを食べました。濃厚な美味しいチョコアイスで、ペロリと平らげてしまいました。ごちそうさまでした！日本にいては分からぬアメリカの日常を実際に肌で感じることができて、とても充実した1日になりました。 【Aiko】



第4日目 7月29日 (月)

(1日の行動)

8:00 DTCC 集合

10:00 消防署見学

12:00 昼食 (In-N-Out Burger)

15:00 「水戸橋」見学

17:00 ビーチパーティー

20:30 DTCC 解散



(1日の様子)

この日は、アナハイムの消防署、In-N-Out Burger、水戸橋、ビーチに行きました。

アナハイムの消防署では、署内を見学しました。ここでは、消防隊員に個室が用意されており、さらにチームを組んで消防署内で生活をしていました。私は水戸の消防署に見学に行ったこともありましたが、建物の大きさもさることながら、署内での生活や隊員の部屋の管理など、多くの相違点を感じました。また、消防服を着る体験をしたり、ホースで放水をしたりなどの貴重な体験をすることができました。

見学後は、In-N-Out Burger で昼食を取りました。In-N-Out Burger は、アメリカ内で有名なバーガーとポテトのファストフードチェーン店であり、そこでチーズバーガーと “Animal-fries” というフライドポテトを食べました。玉ねぎとチーズをポテトの上に乗せるという、あまり日本にはない食べ方だったので、斬新なアイデアだと思いました。どれもアメリカンサイズで大きかったです。また、水戸橋では、水戸とアナハイムの関係の歴史を現地の人々から聞くことができました。アメリカの中に日本風の建築があることに、新鮮さを感じました。少し日本が恋しくなりました(笑)。

最後にビーチに行きました。カリフォルニアの海は透明度が高く、今まで自分が行った中でも一番綺麗な海の一つだと思います。みんなと海で遊んだ後は、「スモア」というクラッカーにチョコレートと焼いたマシュマロを挟んだスイーツを食べました。寒いビーチであたたかいマシュマロを食べることができて、より一層美味しく感じました。 【Aoi】



第5日目 7月30日 (火)

(1日の行動)

- 8:00 DTCC 集合、英語研修
- 11:30 昼食 (Windsor Brown's)
- 13:00 ウエスタン高校 (Western High School)
見学
- 16:00 エンゼルスタジアム (Angel Stadium) 着
テールゲートパーティー
- 18:30 野球観戦 (エンゼルス VS ロッキーズ)
- 22:00 DTCC 解散



サンドイッチの大きさにびっくり！

(1日の様子)

午前中は DTCC で英語研修を受け、昼食は DTCC の近くにある Windsor Brown's というお店でサンドイッチを食べました。サイズはとても大きかったですが、アメリカでは食べきれなかった分は持ち帰るのが一般的で、お店で持ち帰り用のパックや箱までもらえたので、気軽に持ち帰ることができました。

その後、ウェスタン高校へ見学に行きました。そこで日本語の授業を担当している相原先生に、日本語を交え学校を案内していただきました。驚いたのは、アメリカの学校の授業は 1 コマ 43 分~53 分と端数で終わるのが一般的だということです。キリのいい時間で授業が終わる日本では考えられず、とても衝撃的でした。また、日本語を学ぶときに使う教科書を見せてもらったのですが、ことわざやオノマトペ、漢字の成り立ちまで載っていてとても興味深かったです。

夕方は、エンゼルスタジアムに行きました。スタジアムには、他の学生のホストファミリーやアナハイム市学生親善大使が来ており、入場時間まで駐車場で「テールゲートパーティー」という、車のハッチバックドアの周りで行うパーティーを楽しみました。入場時間になり案内されたのはなんとスイートルームでした。部屋には、お菓子や飲み物がたくさん用意されており、野球帽や、エンゼルス時代の大谷翔平選手とマイク・トラウト選手のフィギュアなど、さまざまな品を記念品としていただきました。私はあまり野球に詳しくなかったので、みんなにルールを聞きながら観戦しました。会場の雰囲気がとても楽しく、スクリーンに“MAKE NOISE！”と表示されると



エンゼルスタジアムにて野球観戦

と大声を上げて盛り上げたり、ホームランの時には花火が打ち上ったりなど、演出が豪華でした。試合中、回の合間に観客がランダムに映し出される時間があり、私たちも映ろうと奮闘しましたが、残念ながら叶いませんでした。それでもみんなで盛り上がった試合観戦は、最高の思い出になりました。試合は見事エンゼルスが勝ち、勝利の花火が打ち上りました。【Tamaki】

第6日目 7月31日 (水)

(1日の行動)

- 8:00 DTCC 集合
- 9:00 市役所見学、表敬訪問
- 12:00 昼食(Okiyama kobo Bakery)
- 12:50 アナハイム市歴史資料館(Heritage Center)、ミュゼオ(MUSEO)見学
- 15:00 アナハイム・パッキング・ハウス(Anaheim Packing House)見学
- 17:00 DTCC 解散



(1日の様子)

この日は、まず市役所を訪問しました。初めに電気や水を管理している部署へ案内してもらいました。部署内には、アナハイム市内のさまざまな情報が記載されている大きな地図や、コンピューターが多くありました。説明を聞いている中で、この部署ではさまざまな災害等による復旧作業が大変な仕事の一つであると知りました。そこで私は、「今までで最も大きな被害を受けた原因是、何の災害でしたか?」と質問しました。すると、風による被害で、その復旧作業は12時間以上に及んだと教えてください、そのひたむきさに尊敬の気持ちが湧きました。また、普段アナハイム市議会の皆さんのが仕事をしているオフィスも見せていただきました。そこでは、議員の皆さんのが自分にとってのヒーローを紹介してくださいました。私も具体的な目標を決め、その分野で尊敬できる人を見つけたいと思いました。



その後は昼食をとり、アナハイム市歴史資料館、ミュゼオに行きました。ミュゼオでは、さまざまな企画展示があり、ヴィクトリア朝時代の喪服や医療器具、現代イランにおける女性の厳しい現実を描いた絵画、1950~60年代のおもちゃを見るることができました。初めて知ることが多くあり、大変興味深く、特に昔のおもちゃは独特な雰囲気のあるものが多く、面白かったです。

また、この日はたくさんの飲食店が集まったアナハイム・パッキング・ハウスにも行きました。アイスクリーム屋さんでは色とりどりのフレーバーばかりで、とても美味しかったです。

この日は、アナハイム市のことより深く知ることができ、とても充実した一日でした。 【Juri】

第7日目 8月1日 (木)

(1日の行動)

- 8:00 DTCC 集合
- 9:00 市役所・市議会議場見学、市長と面会
- 11:00 エンゼルスタジアム
(Angels Stadium) 見学
- 13:45 昼食 (CORTINA'S)
- 15:15 お菓子作り教室参加
- 17:00 ブルックハースト市民センター
(Brookhurst Community Center) 解散



アナハイム市長と

(1日の様子)

この日の午前中は、まず市議会議場を見学しました。市議会議場では、実際に議員の方々の席に座させていただくことができました。その後、市役所の外で写真撮影をしていた際に、前日の表敬訪問ではお会いできなかつたアシュリー・エイケン (Ashleigh Aitken) 市長とお会いすることができました。また、消防長にもお会いできました。とてもフレンドリーな方々で、優しく一人ひとりに声をかけ、握手してくださいました。市長の笑顔で緊張もほぐれ、たくさんお話しできました。たくさんお土産も頂き、心から感謝しています。

その後のエンゼルスタジアムの見学ツアーでは、野球が好きな私のホストファミリーも来て、一緒にスタジアムを回りました。球場内やベンチ、スイートの観戦部屋、エンゼルスが会見やインタビューをする部屋に入ることができて感激しました。インタビュー用の部屋では、マイクの前に座って一言話すことができました。ツアー後は、スタジアムのショップで買い物しました。ぬいぐるみがとても可愛かったのですが、カードでしか会計できないショップだったので、カードを持っていない私は断念しました。ピザの昼食後、ブルックハースト市民センターで、クッキー作り教室に参加しました。愛子ちゃんのホストマザーで、姉妹都市委員長のディンウイディさんが教えてくれました。



アイシングクッキー完成！

ホットドッグ型のアイシングクッキーを作り、いろいろな表情のデコレーションができました。初めてにしては上手にできたと思います。アイシングを乾かしいる間、センターで活動する学生グループ(アナハイム学生親善大使の1人も所属)のメキシコのダンスを見ることができました。花をモチーフにした綺麗なドレスでとても惹かれました。持ち帰ったクッキーをホストブラザーとシスターにあげると、とても喜んでくれて私も嬉しかったです。【Yuna】

第8日目 8月2日 (日)

(1日の行動)

7:30 DTCC 集合

終日 ディズニーランド、カリフォルニア・アドベンチャー (Disneyland, California Adventure) 散策

21:45 DDTG 解散



(1日の様子)

待ちに待ったディズニーランドの日で、前日からワクワクがとまりませんでした！日本のディズニーランドより短い列に並び、手荷物検査をしてスムーズに入場しました。入って右手にディズニーランド、左手にカリフォルニア・アドベンチャーと、2つのパークがあります。まず行ったのは、ディズニーランド内にある「Star Wars: Galaxy's Edge」という日本にはまだ無いアトラクションです。私はスター・ウォーズの大ファンなので、入ってすぐにストームトルーパー(スター・ウォーズのキャラ)がいて、とても興奮しました。そして遂に、私がずっと乗りたかったミレニアムファルコンに乗船することができました。船内は映画そのもので、自分が登場人物のハン・ソロになった気分でした（私は合計3回も乗りました！）。また、もう1つのアトラクション「Rise of the Resistance」にも乗りました。これは間違いなく世界一のアトラクションです。さすがエンターテイメントの国アメリカです。その技術と規模に圧倒され、感動しました。ハラハラドキドキの展開で、アトラクションが終わると謎の達成感に包まれるほど、その世界観に没入できました。

次に、カリフォルニア・アドベンチャーに行きました。こちらではアベンジャーズ版のタワー・オブ・テラーという絶叫系アトラクションに乗りました。順番が近づくにつれ、緊張と恐怖で心臓が壊れそうで、気持ちの整理もつかないまま、急上昇し急降下していました。隣の樹里さんと前席の人が耳を塞ぐくらい叫んでいました。そんな状況のなか、私の左隣で、手を上げながら笑顔で楽しんでいたキンバリーさんは強者です（キン



バリーさんはアナハイム市役所職員でこの日は一緒に楽しみました）。どちらのパークも、待ち時間が日本のディズニーランドよりも短いので、1日で10個ものアトラクションに乗ることができました。予告なくずぶ濡れになるアトラクションもありましたが、アナハイムのカラッとした気候のおかげで、すぐに乾きました。歴史ある「ジャングルクルーズ」から最新の「Rise of the Resistance」まで新旧のアトラクションが混ざり合っていて、規模も本気度も桁違いの本格ディズニーランドの真髄をみました。朝から晩まで幸せな1日でした。

【Aiko】

第9日目 8月3日 (土)

(1日の行動)

終日 ホストファミリーと過ごす

(1日の様子)

前日は、夜遅くまでディズニーランドとカリフォルニア・アドベンチャーを満喫したため、ホストファミリーにお願いして、ずいぶん遅くまで寝かせてもらいました。

その間、ホストファミリーは友人の誕生日

パーティーに行っていました。そのパーティーで、ホストブラザーが、組み立てて作るホワイトボードを、パーティーに来てくれたお礼のプレゼントとして、もらったので、さっそく一緒に組み立ててみました。ホストブラザーはとても器用で、たった5才にも関わらず、これまでにも似たようなものをいくつも作っていて、とても手慣れた様子で驚きました。家には彼が作った宝箱や飛行機、自動車などがありました。

それからは、ホストファザーと一緒にテレビでパリオリンピックを観戦しました。ホストファザーはCMの間に筋トレをしていることにしているそうで、僕も一緒に筋トレをしながら熱い試合を楽しみました。

お昼過ぎに、ホストファザーのご両親と妹さんが家に遊びに来て、プールパーティーをしました。僕はとても疲れていたので、プールには入らなかったのですが、ホストブラザーがプールに飛び込んだり、みんなでバレーをしたりしてとても楽しそうでした。その間、お祖父さん(ホストファザーのお父さん)のお手伝いをしました。お祖父さんはワイン用のブドウ畠を持っていて、そこに設置するカメラの設定をしました。英語の説明書を読むのはとても難しかったですが、2人で協力してなんとか設定を完了できました。後日、そのブドウ畠に行くと、そこには畠一面に大量のブドウが植えてあり、その広大さに驚きました。たまにリスや鳥に畠を荒らされるそうで、夜の間、カメラで畠の様子を監視するそうです。いつかお祖父さんの作ったカリフォルニアワインを飲んでみたいです。



夕食はパスタを食べた後、バスケをしたり、お祖父さんのキャンピングカーの中を見たりしました。辺りが暗くなってくると、アナハイム市での滞在がもう残り少ないということを急に実感し、とても寂しくなりました。残された数日を全力で楽しみ、大切に過ごそうと思いました。 【Tsukasa】

第10日目 8月4日 (日)

(1日の行動)

終日 ホストファミリーと過ごす

(1日の様子)

この日の朝食は、フィリピン系アメリカ人であるホストマザーが作ってくれたフィリピンのパンと、アメリカではおなじみのシリアルを食べました。フィリピンのパンはとても甘く、もっちりとしていて美味しかったです。いろいろな味のシリアルの中から選んだシナモンのシリアルは、日本でよく見るシリアルとは違って、四角く厚めで美味しかったです。

ナツツ・ソーカシティ・ウォーターパークにて
迫力満点のウォータースライダー



朝食後は、オレンジカウンティ最大のプールであるナツツ・ソーカシティ・ウォーターパーク (Knott's Soak City Waterpark) へ、同じホームステイ先であった環希さんと一緒に行きました。パーク内は非常に広く、さまざまなアトラクションがあり、まるで水の遊園地のようでした。チケットを購入することは簡単にできたのですが、ロッカーを借りることには苦戦してしまいました。そこで、近くのインフォメーションセンターで支払いの仕方を詳しく聞き、無事ロッカーを借りることができました。わからぬことがあったら勇気を出して人に尋ねることが大事だと改めて感じました。

私たちは、まず高波が数分おきに発生する波のプールで洗礼を受け、流れるプールでゆっくりとしたり、さまざまな種類のウォータースライダーに乗ったりしました。一番面白かったアトラクションは、専用のソリに腹ばいになって乗り、ものすごい勢いで頭から滑り落ちるウォータースライダーです。大満足のプールでした！

帰ってからは、ホストファミリーと日本のこと話をしました。ちょうどこの日は水戸で黄門まつりが開催されていて、家族が日本からお神輿や提灯行列の写真や動画を送ってくれたので、一緒に見てもらいました。ホストファミリーは、興味を持って見てくれた上に、いろいろ質問してくれたので、とても嬉しかったです。夜ご飯は、ピザを食べました。一切れがとても大きく、食べ応えがありました。

ハワイアンピザをおすすめされて食べてみると、想像以上にパイナップルの味がしっかりとしていて、美味しかったです。とても充実した1日を過ごすことができました。 【Juri】



ナツツ・ソーカシティ・ウォーターパークにて

第11日目 8月5日 (月)

(1日の行動)

- 8:00 DTCC 集合
英語研修
10:30 ダウンタウン・ディズニー
(Downtown Disney)で買い物
13:15 “A Bit of Japan*” の練習など
15:30 DCTT 発
16:15 アナハイムヒルズゴルフクラブハウス
(Anaheim Hills)着
17:30 サヨナラディナー, “A Bit of Japan*”披露
19:30 現地解散



ダウンタウンディズニーでお土産選び!
お菓子の形のベイマックスのマグカップを購入

*A Bit of Japan : 大使が毎回サヨナラディナーにて
日本文化や水戸の紹介等をするパフォーマンス

(1日の様子)

英語研修後、ディズニーグッズをたくさん売っているダウンタウン・ディズニーというショッピングモールに行きました。ディズニーランドへ行った当日は、アトラクションを楽しむことに夢中になり、お土産を買わなかつたので、この日があつて本当に良かったです。私はこの日のためにお金を節約していたので、心置きなく買うことを決め、悩んだ結果、リュックサックとカチューシャ、ベイマックスのマグカップを自分用に買いました。マグカップは、スモア（マシュマロのお菓子）のような見た目をしていて、ビーチパーティーで美味しいスモアを食べたことを思い出しました。楽しいショッピングタイムはあつという間に過ぎてしまい、サヨナラディナーの会場へと向かいました。ディナーでは、ビュッフェ形式でメキシカン料理が提供されており、日本ではあまり見かけないソースが多く、食べてみると思っていたより辛くて驚きました。

渡米前から準備していた A Bit of Japan のパフォーマンスを披露するため、ディナー開始前にも練習したのですが、アナハイムに来てからは毎日が忙しく、久しぶりの練習



TT 兄弟のコントを披露しました！

でかなり苦労しました。披露したのは、オタ芸を参考にしてペンライトを持って踊るソーラン節と、チョコレートプラネットの「TT 兄弟」というネタをアメリカ風に仕上げたコントです。後者はコメディということもあって、笑ってもらえるか不安でしたが、皆さん笑顔で、やっと気が楽になりました。会場にはホストファミリー以外にも、消防署や水道局の方など、この 2 週間でお世話になった方々がたくさん来てください、とても嬉しい反面、この 2 週間を思い出し、アナハイムでの生活がもう残り少ないことに淋しさを覚えました。

【Tamaki】

第12日目 8月6日 (火)

(1日の行動)

- 8:00 DTCC 集合
- 9:15 サウスコーストプラザ(South Coast Plaza)
- 11:30 バーナーズ&ノーブル書店(Barnes&Noble)
- 13:00 昼食 (Mercado Gonzalez)
- 14:00 メルカド・ゴンザレス(Mercado Gonzalez)
- 17:00 ナショナル・ナイト・アウト
(National Night Out)に参加
- 19:00 解散



ショッピングモール内にメリーゴーランドを発見！風船もたくさん売られていました

(1日の様子)

この日は、サウスコーストプラザというとても大きなショッピングモールへ行きました。建物の中に入つてみると、大きなフロアに多くの風船が束になって売られていたり、メリーゴーランドがあつたりして驚きました。ハイブランドの服やスニーカー、アクセサリー、雑貨など、様々な種類のお店がありました。私たちは、雑貨やお菓子をメインに売っているお店でお土産などを買いました。私は、アメリカらしいデザインのグミや飴を買い、ホストファミリーに送るためのレターセットも買いました。

その後は、バーナーズ&ノーブル書店へ行き、自分の弟たちへのお土産のマグカップや機内でやるゲームブックを買いました。その書店には英語で書かれた日本の漫画があり、実際に読んでみると難しかったのですが、とても新鮮で面白い経験でした。

そして昼食は、メルカド・ゴンザレスという大きなスーパーマーケットへ行き、メキシカンタコスを食べました。スパイシーで美味しかったです。その後は、店内で売っているメキシコのチュロスを食べたり、買い物をしたりしました。私はお土産のお菓子のほか、ひとめぼれしてしまったピニャータ(メキシコのお祝い事によく使われる日本のかくし玉のようなもの)を買いました。帰りの荷物のパッキングが大変なことになりそうで、冷や冷やしました。一度 DTCC に戻つて、そこからナショナル・ナイト・アウトと



的にボールを投げ、水入りバケツをひっくり返すミニゲームでびしょ濡れになりました(ナショナル・ナイト・アウトにて)

いう地元のイベントに参加しました。そこではミニゲームに参加したり、蛇を触つたりと、たくさんのアクティビティを楽しみました。この日の夜は、ホストファミリーと過ごす最後の夜でした。昼間に買ったレターセットにたくさんの感謝の言葉を書いて渡しました。手紙を渡すときにさみしくて泣いてしまいましたが、ホストマザーが「いつでもまた遊びにおいで！」と優しく言ってくれました。

【Juri】

最終日 8月7日（水）・8日（木）

（1日の行動）

～アメリカ時間～

8:30 DTCC集合

10:00 ロサンゼルス空港着

11:30 昼食

13:00 ロサンゼルス空港発

～日本時間～

16:30 成田空港着

19:05 水戸市国際交流センター着



お世話になったアナハイムの方々とお別れ

（1日の様子）

この日の朝食は、レストランでパンケーキを食べました。アメリカのパンケーキは少しパリパリしている部分が多く、どちらかというと昼食のような感覚でした。その後は DTCC へと直行し、ホストファミリーとお別れしました。約 2 週間の貴重な体験をさせてもらったことに感謝を述べた後、ほかの親善大使と合流しました。

その後、ロサンゼルス空港で昼食を取りました。しかし、飛行機に乗ってから 2~3 時間後に機内食も出るということで、朝食にアメリカンパンケーキをしっかり食べた自分は、ロールケーキだけで済ませました。

10 時間ほどかけて、やっと成田空港に到着しました。飛行機内では仮眠を取ったり、本を読んだり、映画鑑賞をしたり、ナンプレなどをして時間を潰しました。日本に近づいていくと、窓から懐かしい光景が見え、とても感動しました。その一方で、飛行機を降りた時、もわっとした日本特有の高温多湿な空気が流れ込んできて、とても暑かったです。しかし自分は乾燥肌なので、湿度で言えば日本のはうがいいかなと思いました。その後、約 2 時間で国際交流センターに着きました。家族と再会する



ロサンゼルス国際空港にて

と、真っ先に 4 歳の妹が走って駆け寄ってくれました。2 週間ぶりの再会だったので、妹も喜んでくれました（この報告書を書いているときは、もう怪獣のようになっていますが（泣））。その後は、家族とアメリカでの思い出話をしてから、床につきました。

【Aoi】

ホストファミリー紹介

Introduction of Host Families



THANK YOU, OUR FAMILIES!!



Dear My host family,
Thank you so much for your hospitality!!
I was so happy to spend time
together with you.
My host family is very kind so I could
go to Dodger stadium, hiking, beach
and other many places.
Also, I couldn't speak and understand
English well but you spoke slowly for
me, and taught me.
I really look forward to seeing you
again.



Aoi Ose

Dear my American parents Lori and Jim,
Thank you for everything you did for me!
When I introduced myself, you told me, "My Japanese daughter Aiko." I was so happy to
hear that! Thank you, I went to so many places, had so nice dishes, communicated with
many people, and experienced American life. All of them are my wonderful memories in
Anaheim. I miss my days with you in Anaheim.

Also, you talked to me a lot, so I'm not afraid to speak English anymore. I want to improve
my English to talk with you more. I'll talk about Star Wars and music of America.



I'm looking forward to seeing you again.
And, I'll come back soon! I love you!!

Your Japanese daughter,
Aiko

Dear my host family,

Thank you for always being kind and considerate to me.

The days I spent with you in Anaheim is the treasures of my life.

I could learn many things from you.

I miss your pancakes with a lot of fruits... Hope to see you all again soon either in Anaheim or Mito!

Thank you so much and I love you all!!!

Juri



Dear my host family,

Thanks to all of you, I had a wonderful experience.

I could learn variety of food culture from you.

My wonderful host mother is very kind and tolerant even though I was picky eater... I really enjoyed watching movies with my host sister. Thank you so much!!

Tamaki

Dear my Host family,

Thank you for everything! I enjoyed everything. My best memory is eating fried Oreos with you. I am so happy that you are my host family. You told me to try many things and I could experience many things that I can't do in Japan. You are my best host family. I can't wait to see you again!

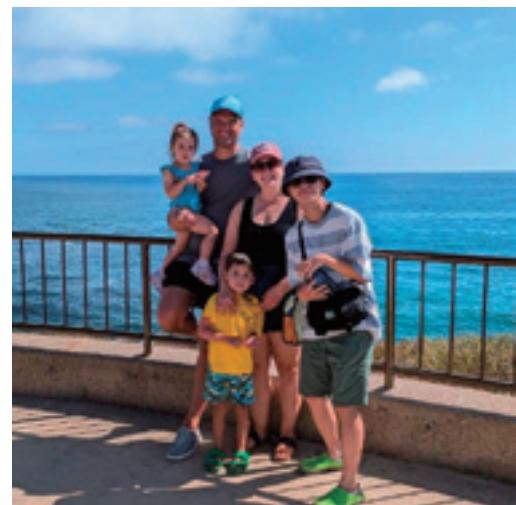


Yuna



Dear my host family, Jared, Paskalina, Theo and Katerina,
Thank you for everything you did to me during my stay in Anaheim.
I could do a lot of things, such as socializing with many people, visiting several places, playing some games and so on.
All things I did with you are my best memories.
You were always kind and cared for me.
That made my stay comfortable and fun.
I could spend the time as a member of your family. And you are exactly my second family.
My dream is to be a good surgeon, and to meet you again. I hope to achieve that. I am looking forward to that fantastic day!!

Tsukasa



報告書 AMBASSADOR REPORTS

Thank you for everything!

We love Anaheim!



We will never forget these
experiences in America!

アナハイムで得られたこと　—What I gain in Anaheim—

小瀬 蒼
Aoi OSE

水戸市学生親善大使派遣事業では、単なる旅行ではできないとても貴重な体験をし、たくさんの学びを得ることができました。

まず一つ目に、挙げられるのは「多くの人との交流」です。アナハイム市の職員の方々やホストファミリーの方々と、日本とアメリカでは「気候や食べ物がこんなにも違う」といったことや、お互いの習慣について話す機会がありました。そして、行動を共にした学生親善大使のみんなと二週間という長いようで短かった時間を共に過ごし、親睦を深められたことはとても幸せなものでした。

二つ目は、「日本では体験できないほどの近さでアメリカの文化に触れることができたこと」です。現地の文化を最も深く体験できるのは、「現地の人と共に暮らすこと」です。今回、親善大使としてホームステイを経験できたことは、中学二年生の私に非常に大きな影響を与えました。例えば、「食器を持ち上げずに食べること」や、「店で料金とは別にチップを支払うこと」、「Yes・Noをきちんとはっきり伝えること」など、現地に行かなければ分からぬことがたくさんありました。

最後に三つ目は、「アメリカには多様なルーツがあること」です。高校見学での高校生や、街を歩いているときに見かけた人々から、実にさまざまな人種が共存していることに気づきました。アジア系やヨーロッパ系など、さまざまなルーツを持つ人々が一つの国に共存している状態は、SDGsの目標である「人や国の不平等をなくそう」というテーマにも関連していると感じました。アメリカの社会には、人種問題など、世界全体の課題に対する解決のヒントがあるのではないかと考えました。

アナハイムでの出来事や考えたことは、私にとって非常に貴重な経験となり、この時間を提供してくれた家族や国際交流センターの職員の方々、アナハイムの皆さん、そしてホストファミリーに心から感謝しています。ありがとうございました！

In this program, I had precious experiences that I couldn't on a normal trip.

First of all, I was able to socialize with a lot of people. It was so happy to spend time with people in Anaheim city, my host family and other Mito students.

Secondly, I could feel close to American culture. I was able to do home-staying which is an invaluable experience in my life. The best way to experience local culture is "Living with local people". I could learn many things and this experience gave me good impacts.

I'd like to say thanks to my family, the people of the Mito International Center and all people I met in Anaheim. Thank you very much.

新しいステップへ – Move on to the next step-

熊野御堂 樹里
Juri KUMANOMIDO

水戸市を出発したとき、私は初めての外国での生活に対する期待と不安がありました。いま改めて振り返ってみると、今回アナハイムで過ごした二週間は私にとって非常に有意義なものとなりました。

現地に到着し、ホストファミリーとの初対面。初めてホストファミリーと話したとき、相手に自分の話している内容が伝わっているか心配でした。しかし、にこやかに話を聞いてもらい、自分の英語が相手に通じたことが、とても嬉しかったと今でも鮮明に覚えています。コミュニケーションをとることの楽しさを改めて実感し、大きな自信となりました。毎朝、紅茶を一緒に入れて朝食の準備をする時間は、私にとってとても大好きな時間で、苦手だった早起きが楽しみになりました。夜はよく眠れたか、不安なことはないか、今日楽しみなことは何か、このような日常の会話をしながら朝食の準備する穏やかな時間は、忘れられません。伝わらなかつたらどうしよう？という不安はいつの間にか消え、どうやつたら伝えることができるのか？を考えている自分にシフトチェンジできたことは、私の中で大きな一歩だったと思っています。

アナハイムで過ごした二週間で、私は「新しいステップ」へ進むことができたと思います。自分の意思をはっきりと伝えること、自分からコミュニケーションをとろうと挑戦すること、自分に自信を持つことの大切さを実感しました。今回の経験を楽しかつた、というところで終わらせずに、実りのあるものにしたいと思います。今まで以上に勉学に励み、成長した自分で再度アナハイムへ渡り、今回お世話になった方々のもとに会いに行きたいです。本当にありがとうございました。

I was so nervous when I left Mito, because it was my first trip abroad. But the days I spent in Anaheim were so wonderful and valuable experience.

My host family, Mr. and Mrs. Velasquez, were always kind to me. They welcomed me with a big smile. Besides my host family, I met and talked with many people in Anaheim. I learned a lot of things from them, not only English but also the joy of communication. I was so happy that they always listened to me so patiently and kindly. They gave me more confidence.

I think that I could move on to the next step during my 14 days in Anaheim. I realized that it is so important to express my opinion and to be considerate of other people's feelings. I am looking forward to visiting Anaheim again in the near future! Thank you so much.

経験をつなげて—Another Hometown—

首藤 環希
Tamaki SHUTO

大学受験を控える高校最後の夏休み、アメリカに居るのは少し非現実的でした。しかし、5年ぶりに募集された水戸市学生親善大使の派遣に、私が応募するチャンスは今年しかありませんでした。だからこそ、親善大使に選ばれたとき、この二週間を絶対無駄にしない、と心に決めました。私が一番不安でもありワクワクしていたのは、ホームステイでした。私はホストファミリーと上手くコミュニケーションが取れる自信がなかったのですが、ホストファミリーに実際会ってからは、不安はほとんど無くなりました。事前に知らされていたのはホストペアレンツとグランドマザーだけでしたが、現地では家にホストシスターと彼女のボーイフレンドも遊びに来てくれました。日本の曲を車で流して盛り上がったり、お互いに英語と日本語を教え合ったりして異文化交流を楽しみました。メキシコ系のホストファザーとフィリピン系のホストマザーの家庭で、ホストマザーはお料理が上手だったので、いろんな食文化を体験することができました。おかげでホームステイを最大限に楽しむことができました。

また、滞在中はさまざまな場所に訪問し、そこで質問する機会が多くあり、常に疑問を持つ意識も身につきました。見ること知ること全てが日本とは違うことばかりでしたが、そうした文化や習慣の違いについて、能動的に知ろうとすることで、よりアメリカ、そしてアナハイムという市について理解を深めることができました。

私はこれまで、何度かアメリカに行った経験がありますが、改めて、実際に訪れ自分の肌で感じ経験することの重要性が身に沁みました。そして今後の語学学習の大きなモチベーションに繋がりました。最後に、この経験は最高の経験だったと今の私なら言い切ることができるでしょう。

I have learned a lot during these two weeks. I would like to thank the people of Anaheim for their warmth and kindness. During my stay, I visited many different places. Everything I saw and learned was different from Japan, but by actively trying to learn about these differences in culture and customs, I was able to gain a deeper understanding of America and the city of Anaheim. I would like to return the favor by spreading the goodness of Anaheim in Mito City.

My host mother was a great cook, so I was able to experience many different food cultures. Thanks to that, I could enjoy my homestay. Thank you very much for your hospitality over the past two weeks.

This program gave me great motivation to go abroad and to study foreign languages. Finally, I can say with confidence that this experience was the best one I have ever had.

「今」の世界に目を向けて —Looking to the world today—

丹下 愛子
Aiko TANGE

毎日、テレビやスマートフォンから世界中のニュースが飛び込んできます。こうした技術の発展や AI の急速な進歩により、今、世界はグローバル化やボーダーレス化の大きなうねりのなかにあり、いつ・どこにいても情報を入手することができ、簡単に人とつながることができてしまいます。だからこそ、「自分の目で世界の今を見たい」、「人ととのつながりを大切にしたい」、という思いと目標を胸にアナハイム市へ向かいました。日本と異なるアナハイム市での環境は、毎日発見に満ちていました。ホストファミリーやアナハイム市の方々がたくさんのこととを優しく教えてくださったり、私たちの文化を知ろうとしてくださったりしました。相手の文化について敬意をもって学ぶことは大切なことだと感じました。また、たった数分のドライブでたくさんの国の料理店の看板を目にしたことで、多様な文化が相互に作用し合い、また新たな文化が生まれてくるという、常に変化し続けるアメリカを垣間見ることができました。私は、アナハイム市に行く前は、「アメリカ」という一括りで人や物事や文化を想像していたように思います。しかし、この研修を通して多くの人と出会ったことで、一人一人の多様性や心の温かさを感じることができました。

私は正直、自分の英語に自信がありません。文法もおかしなことがあります、単語力もまだまだ乏しいです。しかし、出会った方々はいつも丁寧に私の話を聞いてくれて、おかげで話すことに抵抗がなくなりました。積極的に話しかけることが、相手を理解する第一歩なのだと感じることができました。ホストファミリーのディンウィディ家をはじめ、私がこの研修で出会った全ての人との交流は本当にかけがえのないものです。関わってくださった方々に感謝申し上げます。宝物を胸に、私はさらに世界に目を向けていきます。

Today, we can get information from over the world by our TV or smartphones. The world is changing by globalization, borderless society, and advances in AI. That's why my goal in Anaheim was to know real world and to make connection with people.

I found and learned a lot of new things in Anaheim. My host family and people of Anaheim taught me many things very kindly and understood my culture. I found it's important to respectfully know other culture. In USA, I saw so many signboards that were written in different languages on the road. A lot of cultures are influenced by each other and new cultures created there. I felt America is changing. Before visiting Anaheim, I used to judge people and culture based on the term "America". However, through this program, I could realize diversity and the warmth by each person I met. I know my English is not so good, but now I can talk proactively because they always listen to me carefully. I learned trying to talk with people is a step for understanding each other. It's my treasure to meet Dinwiddie family and all people in Anaheim. Thank you for everything. I will continue to grow up and become an international minded person.

国際交流を通して —Through international exchange—

花見 優菜
Yuna HANAMI

この2週間の国際交流は私にとって、とても充実したものとなりました。ホストファミリーにいろいろな場所に連れて行ってもらい、アメリカの文化や生活を学ぶことができました。特に、気球に乗った事は貴重な体験でした。最初は少し怖かったけれど、乗ってみると体が浮く感覚や素晴らしい景色を体験でき、とても楽しかったです。また、ネイティブの英語を話すスピードを体感できたのはとても勉強になりました。私は日常の英会話はできるので、ホストファミリーと英語で問題なく会話ができましたが、ファミリー同士が話している英語はスピードが速くて、私には聞き取れない部分もありました。ネイティブ同士の英会話も理解できるように、リスニング力を磨いて、もっとたくさん英語の勉強をしようという気持ちにもなりました。

ホストファミリーの方々はとても親切で、子供たちとも仲良くなり、アメリカに妹や弟たちができて嬉しかったです。もちろん、ホストファザーもホストマザーも私のアメリカのお父さんとお母さんです。将来もう一度、家族に会いにアメリカに行きたいと思っています。ホストファザーの「何でもトライしなさい」という言葉がとても印象に残っています。この言葉は、私にとって何事にも挑戦してみる勇気を与えてくれました。これから私は高校、大学へと進学していくますが、高校でも大学でも海外留学してみたいという気持ちがより高まりました。外国の文化を学んで、将来は国際的に活動できるようになりたいです。私の将来の夢は英語の先生になる事ですが、私が学んだ国際交流活動を次の世代の子供たちにも伝えていきたいと思います。

Two weeks in Anaheim was full of surprise and impression for me. I learned American lifestyle and culture. My host family took me many places and I could experience a lot of things that I can't do in Japan. One of the most valuable experiences was that I rode a balloon for the first time. I was afraid to ride it at first, but the view was very beautiful. And My host family were very kind and friendly. I felt I was part of their family. I am very glad because I have a family in USA. "Try anything" my host father said to me. The word impressed me. I want to go abroad to study English in the future. My dream is to be an English teacher, so I want to learn a lot of foreign culture. When I become an English teacher, I would like to tell my experience to the next generation.

国際交流で得たもの ーBroaden my horizonsー

山崎 司
Tsukasa YAMAZAKI

アメリカという多文化共生社会に身を投じて感じたことは、全員がそれぞれのルーツに気を配り尊重し合っているということです。それを特に強く感じた出来事があります。それはフランスにルーツを持つ友人が、ホストファミリーの家に遊びに来たときのことです。ホストマザーのルーツがギリシャだったため、自分を含め、その日は一つの家にアメリカ、ギリシャ、フランス、日本の4カ国のルーツが集まりました。そこで私たちは、それぞれの国の特徴や国民性について話し合い、その内容は私の知らないことばかりでした。さらに、休日にピザやベーグルを食べに行ったり、ビーチに出かけたりした際には、中国やプエルトリコなど、よりいろいろなルーツを持った方たちに出会い、それぞれの国について話すことで、また多くを学ぶことができました。

一つの国にいながら、行く先々でさまざまな文化に触れることができる。さらにそれらが単に雑然と乱立しているのではなく、互いに受け入れ合い調和しているように感じられる。それはアメリカという国が持つ最大の特長の一つだと思います。ただ一つの固有の文化を持つ日本ではあまり見ることのできない光景に、私はとても感銘を受けました。そして私は、日本に留まるのではなく、もっと多くの文化に触れて自分の国際性を豊かにし、いつかはそれを自身の将来に役立てたいと考えるようになりました。

アナハイムでの14日間は、振り返るととても短いものでした。しかしそれは私に多くのことを気づかせてくれ、私の将来の可能性を広げてくれました。最後に、今回の水戸市学生親善大使派遣事業に携わってくださった皆様、私が親善大使として出会ったすべての皆様に心からの感謝を申し上げます。必ずまたお会いできることを祈っています。ありがとうございました。

I could learn a very important thing by visiting a multicultural society. It is that everyone pays respect to each other's roots in Anaheim. I have one experience which I could strongly feel about. That is when friends of my host family came to our house. Their root is France and my host family's is Greece. So, there were four countries, America, Greece, France and Japan in one house. We talked about its features and nationality. All what we talked about was quite new for me. And more, when we went out for lunch or went to the beach, we met other people, such as Chinese and Puerto Ricans. I could learn many things by talking about each country.

Everywhere we went, we could enjoy many cultures in the same country. Also, they seem to accept each other and be in harmony. That is one of the biggest advantages of America. That is not in Japan, because we have only one culture. So, I was really impressed. I began to think that I would like to expand my abilities by interacting with several cultures instead of staying in Japan. And I will take advantage of that abilities for my future.

My stay in Anaheim was only two weeks and it was too short for me. But it gave me the opportunity to learn many things and it broadened my view of the world.

Lastly, I really appreciate everyone who engaged in our trip and whom I could meet. I strongly hope that I can see you again. Thank you.

感謝の言葉 —Words of Appreciation—

令和 6 年度水戸市学生親善大使

Mito Student Ambassadors 2024

アナハイム市に滞在した 14 日間は、私たちにとって、とても短いものでした。しかし、そこで得られた経験は決して忘れる事のできない、まさに「一生もの」となりました。そしてその経験は、私たちに多くを教えてくださり、あらゆる面で私たちを成長させてくれました。私たちのプログラムがこのような貴重なものとなったのは、ひとえに私たちのプログラムに携わってくださったすべての皆さまのご尽力があったからこそです。

アナハイム姉妹都市委員会、ダウンタウンコミュニティセンター、水戸市国際交流協会の皆さま、さらに私たちが今回の研修で出会ったすべての皆さまに心から感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

Our stay was only two weeks and this was too short for us and we

wished many times that we could stay much longer in Anaheim.

This experience taught us many things. We will keep in mind what we learned during our stay in Anaheim and continue to make efforts to achieve our future dreams. This program was exactly one of the most precious memories of our life. That is just because of your support. We would never forget this precious memory forever.

Lastly, we would like to appreciate Sister City Commission of Anaheim, the DownTown Community Center, Mito City International Association, and all the people we met during our stay.

We sincerely hope to see you again one day. Thank you very much.





TSUKASA
YAMAZAKI



AIKO
TANGE



TAMAKI
SHUTO



YUUNA
HANAMI



★ ★ ★
AOI
OSE



★ ★ ★
JURI
KUMANOMIDO

アナハイム市でお世話になった方々 Thanks to All of You!!

- ① プリンセスみたいにキレイで明るい！
She is our princess. She is so lovely.
- ② 車で送迎してくれたとき、日本語の曲を流して
盛り上がったこと／We enjoyed listening to
Japanese songs together in the car.
- ③ Thank you for safety drive!!
We enjoyed every moment with you!



キンバリー
KIMBARLY

- ① どんな人？ What's she like?
- ② 思い出 Our Memories
- ③ メッセージ Message to her

- ① かっこよくて頼れる理想の女性
She is a smart and gorgeous woman.
- ② 一緒にディズニーランドの
絶叫アトラクションに乗って楽し
んだこと／We enjoyed riding roller
coasters with her in Disneyland.
- ③ Please continue to have a great
friendship between Anaheim and Mito!



ローレン
LOREN

- ① 世界一の英語の先生／Our best English teacher
- ② アメリカで人気のダンスを教えてもらって
一緒に踊ったこと／She is a wonderful dancer!
We had a fun time to dance together.
- ③ We want to see more of your dance performances!!

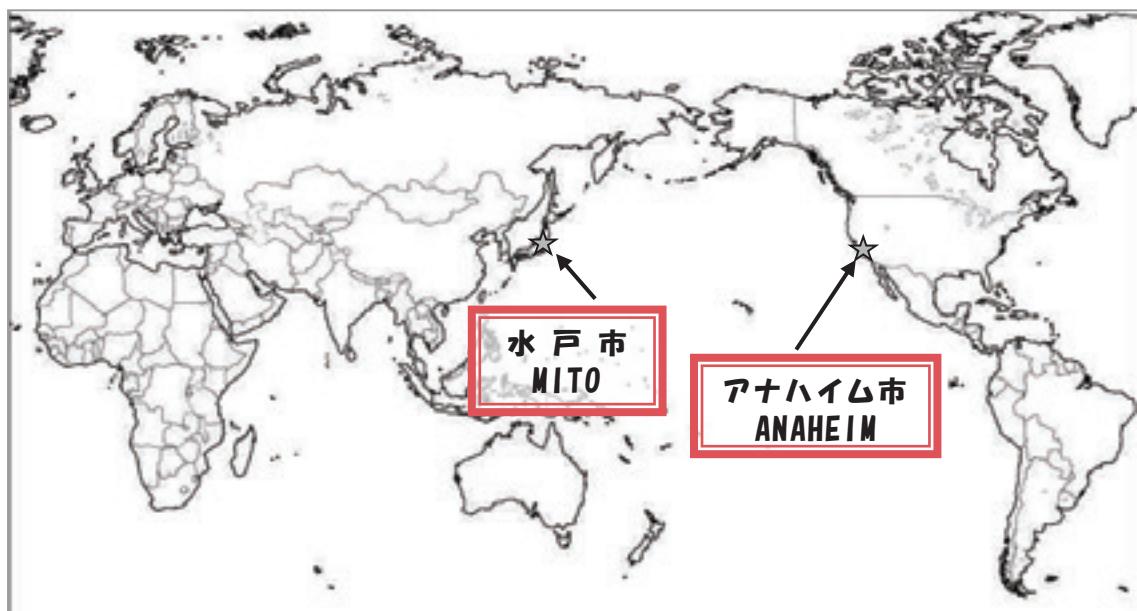


ジャッキー
JACKIE

- ① みんなのお母さん
She is our wonderful mother
- ② フーフー！といつも声をかけて盛り
上げてくれたこと／She always
encourages us to say "Woohoo!"
- ③ We appreciate your kindness and
hospitality.

参考資料

— Background Information —



- 令和 6 年度水戸市学生親善大使 募集要項
(Guidelines for applicants)
- 水戸市とアナハイム市の交流とプロフィール
(Histories of exchanges and profiles of two cities)
- 派遣前の様子
(Photos before leaving for Anaheim)
- 新聞掲載記事
(Newspaper article)

令和6年度水戸市学生親善大使 募集要項

1 目的

市内の学生を水戸市の国際親善姉妹都市であるアナハイム市へ派遣し、海外でのホームステイを通して国際的な視野に立つ人材を育成するとともに、両市の相互理解と友好親善を深めます。

2 主催

公益財団法人水戸市国際交流協会、水戸市、水戸市教育委員会

3 事業概要

- (1) 派遣期間 令和6年7月26日(金) ~8月8日(木) (14日間)
- (2) 派遣先 アメリカ合衆国 カリフォルニア州 アナハイム市
市民ボランティア(※)宅にホームステイ
(※ホストファミリーの経験が豊富であり、アナハイム市姉妹都市委員会が認める者)
- (3) 派遣人数 8名 (親善大使を引率する団長・協会職員を含む)
- (4) 親善大使としての活動内容
 - ア アナハイム市での活動
 - (ア) アメリカ合衆国及びアナハイム市の歴史や文化等の研修
 - (イ) 英語研修
 - (ウ) 関係機関、施設等の訪問・見学
 - (エ) 水戸市の紹介
 - (オ) ホームステイを通しての市民間交流
 - (カ) 姉妹都市交流の推進、市役所表敬訪問
 - (キ) その他
 - イ 事前研修
アナハイム市での活動を効果的に行うため、事前研修を行います。
 - ウ 事後研修及びその他の活動
アナハイム市での活動内容を報告書にまとめ提出するとともに、今後、公益財団法人水戸市国際交流協会及び水戸市の実施する国際交流推進事業に積極的に参加していただきます。

4 募集人数

6名程度 ※受入れ側の状況により変更する場合があります。

5 応募資格

下記のすべての資格・条件を満たさない場合は、申込みを受付けません。

応募に際して英検等の資格は必要ありません。

- (1) 令和6年4月1日現在、満13歳以上17歳まで(平成18年4月2日～平成23年4月1日生まれ)であること
- (2) 中学校、高等学校、高等専門学校などの学校教育法第一条に定める教育施設に在学中であること
- (3) 本人又は本人と生計を一にする家族が水戸市内に住んでいること
- (4) 協調性に富み、事業計画に従って規律ある団体行動及び生活ができること
- (5) 派遣前後に行われる研修等に参加し、派遣後も公益財団法人水戸市国際交流協会及び水戸市の国際交流推進事業に積極的に参加できる者
- (6) 過去に水戸市学生親善大使としてアナハイム市を訪問していないこと

6 応募方法

- (1) 提出書類

※ア及びイは、応募者の自筆とする。ただし、アの裏面(承諾事項)は保護者の自署とする。

※提出書類は、すべて黒のボールペンで記入すること。(ただし、イはえんぴつ記入可。)

ア 参加申込書(様式第1号) 1通 (裏面の承諾事項を含む)

イ 作文 【題名】「水戸市学生親善大使となって何を学びたいか」

【規格】 A4規定用紙を使用、横書800字以内 ※学校名、学年、氏名を必ず記入すること

ウ 本人と生計を一にする主たる納税者の運転免許証コピーおもて・うら両面(現住所確認のため)

※運転免許証が無い場合は、住民票のコピーを提出してください

- (2) 提出期間 令和6年5月1日(水) ~5月23日(木)

(3) 提出方法 直接窓口に持参または郵送すること。※郵送の場合は必着

- (4) 提出先 公益財団法人水戸市国際交流協会

7 選考及び決定

選考は、当協会の選考要項に基づき、選考委員会が行います。

(1) 第1次選考 書類審査

第1次選考の結果は、応募者全員に5月31日(金)までに、申込書に記載のEメールアドレスに通知しますので、必ずご確認ください。(申込書にはキャリアメール以外のメールアドレスをご記入ください。)

(2) 第2次選考 面接(簡単な英会話を含む)、集団討論

ア 期日 令和6年6月9日(日)

イ 時間 午前9時～午後1時(予定) ※応募人数によって時間が前後することがあります。詳細時間は、第1次選考結果の通知メールにてお知らせします。

ウ 場所 水戸市国際交流センター

第2次選考の結果は、6月16日(日)までに本人の現住所へ郵送します。(※選考の結果は、各応募者あてに通知いたします。学校あてには通知いたしませんので、あらかじめご了承ください。)

8 スケジュール

6月 29日(土) 午後2時～8時	アナハイム市学生親善大使との交流会、同学生を囲んでのサヨナラパーティー(予定)
7月 7日(日) 午後1時30分～5時	結団式 第1回事前研修(水戸市・アナハイム市の概要及び英会話等)
7月 14日(日) 午後1時30分～5時	第2回事前研修
7月 21日(日) 午後1時30分～5時	第3回事前研修
7月 26日(金)～8月8日(木)	アナハイム市へ派遣(ホームステイ)
8月 25日(日) 午後1時30分～5時	事後研修(振り返り、報告書作成の説明等)
9月～11月	報告書作成

※場所: 水戸市国際交流センター(アナハイム市派遣を除く)

9 費用

この事業に要する費用のうち、次に掲げる費用は、参加者の個人負担とします。

(1) 水戸市～アナハイム市間の交通費等: 約42万円(内15万円を協会より補助する)

※現地での活動費(300USドル)、燃油サーチャージ、ESTA取得料込み。

※為替レートの状況により、現地活動費(日本円換算)が変動する場合があります。

(2) 自由行動時の個人的な費用

(3) 海外旅行保険料

(4) その他疾病又は傷害の治療費用

10 親善大使の取消し

(1) 親善大使として決定された後であっても、不適格と認められる行為又は事実があった場合には、資格を取消すことがあります。

(2) 出発後の取消しは、団長が行います。この場合、親善大使を直ちに帰国させるものとし、帰国に要する費用は、本人の負担とします。

11 旅行の取消し

決定後、事業への参加を取りやめたときは、旅行約款に基づく取消料を負担していただきます。

12 個人情報の取扱い

応募書類に含まれる個人情報については、当協会の個人情報保護規程に基づき厳重に管理し、親善大使選考及び選考に付随する業務のために利用します。

応募先/問合せ先

公益財団法人水戸市国際交流協会

〒310-0024 水戸市備前町6番59号

水戸市国際交流センター内 (開館時間 午前9時～午後9時 ※月曜日・4月30日・5月3日・7日は休館)

TEL: 029-221-1800 E-mail: mcia@mito.ne.jp ホームページ: <http://www.mitoic.or.jp>

※本派遣事業は渡航者の安全確保を最優先させますので、今後の国際情勢によっては、応募後であっても中止する場合があります。

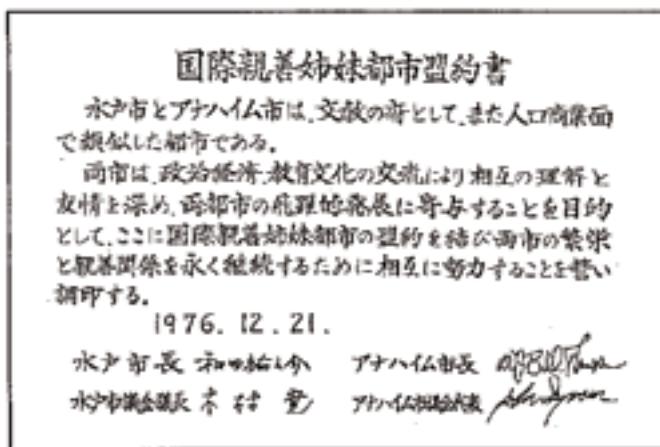


水戸市とアナハイム市の交流

水戸市とアナハイム市の交流は、昭和 49 (1974) 年アナハイム市在住の水戸出身の実業家が、恩師をアナハイム市に招待したことを契機として始まりました。その後のさまざまな人的交流が実を結び、アメリカ合衆国建国 200 年祭にあたる昭和 51 (1976) 年 12 月 21 日、両市は国際親善姉妹都市を締結しました。姉妹都市となった両市は、幾多の交流活動を重ね今日に至っています。

学生親善大使の往来について、水戸市からアナハイム市への派遣は、昭和 63 (1988) 年の第 1 回以来、今回の派遣を含め 30 回実施され、計 514 人がアナハイム市を訪問しました。アナハイム市からは、昭和 60 (1985) 年を第 1 回として、これまで 31 回派遣され、計 134 人が水戸市を訪問しました。

このほか、水戸市使節団のアナハイム市への派遣は、昭和 51 (1976) 年の姉妹都市調印式を第 1 回として 34 回行われ、のべ 962 人がアナハイム市を訪問しました。アナハイム市からの使節団は昭和 51 (1976) 年を第 1 回として、これまで 21 回派遣され、のべ 440 人が水戸市を訪れました。(令和 6 年 9 月 1 日現在)



—両市のプロフィール—

	水戸市 (Mito)	アナハイム市 (Anaheim)
人口	267,153 人 (2024 年 8 月 1 日現在)	340,512 人 (2023 年現在)
面積	217.45 km ²	130.7 km ²
標高	最高 160.0 m 最低 0.1 m	最高 52 m (170 ft) 最低 37 m (120 ft)
緯度	北緯 36 度 21 分 57 秒	北緯 33 度 50 分 10 秒
経度	東経 140 度 28 分 17 秒	西経 117 度 53 分 23 秒
気候	平均気温 : 13 °C 年間降水量 : 1,326 mm 温暖湿潤気候	平均気温 : 21 °C 年間降水量 : 249 mm 地中海性気候
市の花	ハギ (Bush Clover)	キンセンカ (Calendula)
市の木	ウメ (Plum)	マグノリア (Magnolia)
市制施行	1889 年 (明治 22 年)	1857 年

派遣前の様子 (Photos before leaving for Anaheim)



結団式
Inauguration Ceremony



研修初日
1st Day of the Seminar



アナハイムについての勉強
Study about Anaheim



A Bit of Japan の練習
Preparation for "A Bit of Japan"



出発式
Departing Ceremony



出発式
Departing Ceremony

3日間の研修にて
大使としての心構えを高め
アナハイムへと旅立ちました



新聞掲載記事

・茨城新聞（令和6年7月27日）

米国アナハイム市に派遣される水戸市の学生親善大使の出発式が26日、水戸市備前町の国際交流センターで開かれた。大使となる中高生6人は8月8日までの14日間、ホームステイを通して米国の暮らしや文化、歴史などを学ぶ。日米の両市は、国際親善姉妹都市を結んでいる。大使派遣は19年でいる。大使派遣は19年でいる。

米国アナハイム市に派遣される水戸市の学生親善大使の出発式が26日、水戸市備前町の国際交流センターで開かれた。大使となる中高生6人は8月8日までの14日間、ホームステイを通して米国の暮らしや文化、歴史などを学ぶ。日米の両市は、国際親善姉妹都市を結んでいる。大使派遣は19年でいる。

水戸

88年に開始。2019年以来5年ぶりに再開され、今年で30回目。

一行は現地で市長表敬や消防署、議場の見学、エンゼルススタジアムでの野球観戦なども行う。出発式で小田木健治副市長は「文化、社会の違いに興味を持つてほしい」と激励した。6人はその後、引率者2人と共に保護者らから見送られ、成田空港に向け出発した。

大使の県立水戸一高2年、山崎司さん（17）は「不安もあるが楽しみの方が多い。水戸市のことを伝えられるために、積極的に国際的なコミュニケーション力を身に付けてい」と意気込みを語った。

編集後記 Editorial Note

今回、私たちがこのような貴重な経験をすることができたのは、水戸市やアナハイム市の企画・運営・ご支援の賜物です。この場をお借りして、感謝申し上げます。5年の月日を経て、このような交流を再開できたことを大変嬉しく思います。私たちは、多くのことをアナハイムで学び、私たちの世界はさらに広がりました。私たちが水戸市学生親善大使として得られた経験は、人生の糧となり、人生をより豊かなものとしてくれることを確信しています。アナハイム市と水戸市の関係は、48年前の一組の交流から今の私たちまで受け継がれていることに人と人とのつながりの大切さを感じます。そのバトンを私たちも受け継いでいきたいと思います。

最後になりますが、アナハイム市と水戸市の友好関係がこれからも続くことを願っています。そして、アナハイムでサポートしてくださった皆さんにまた会える日を楽しみにしています。

We are very grateful to everyone who supported us.

We had a wonderful experience and made precious memories in Anaheim. We will never forget everything we got during this program. Through this experience, we are sure that we will make our future much better.

In the end, we strongly hope that the relationship between Anaheim and Mito will continue forever.

We are looking forward to seeing you again.



令和6年度水戸市学生親善大使報告書

編集委員長 首藤 環希

編集委員 小瀬 蒼

熊野御堂 樹里

丹下 愛子

花見 優菜

山崎 司

ANAHEIM 2024

令和6年度水戸市学生親善大使派遣の記録

編集 令和6年度水戸市学生親善大使

発行 公益財団法人水戸市国際交流協会